

2024年3月12日

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

サステナビリティ戦略・実施計画を策定し、AIPHに提出しました。

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（会長：十倉雅和）は、AIPH（国際園芸家協会）の規則等に基づき、サステナブルな国際園芸博覧会を実現するため、基本方針や目標等を定めた「サステナビリティ戦略」、「サステナビリティ実施計画」を2024年3月12日に策定するとともに、AIPHに提出しました。AIPHの審査は、約半年間かけて行われ、AIPHの承認後に確定する予定です。サステナビリティ戦略・実施計画の策定に当たっては、当協会の「持続可能性有識者委員会」でご審議いただき、委員会の内容を反映しました。

本園芸博のテーマ「幸せを創る明日の風景」等を踏まえ、生物多様性や気候変動対策等の取組を発信し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。具体的には、GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向け、再生可能エネルギー100%の電気の調達や省エネの推進、カーボンオフセット等の取組により、博覧会の脱炭素化を推進します。既存の自然環境や生物多様性を保全・活用し、グリーンインフラを基軸とした会場計画を推進するとともに、ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向け、本園芸博を通じて取組を発信します。また、本園芸博における仮設建築物は、環境に配慮された「GREEN サーキュラー建築」とします。

なお、2024年1月18日に策定した「持続可能性に配慮した調達コード」の英語版も併せて公表しました。

■ 1 公表資料

- (1) サステナビリティ戦略（概要版・本文：日本語・英語）
- (2) サステナビリティ実施計画（概要版・本文：日本語・英語）
- (3) 持続可能性に配慮した調達コード（概要版・本文：英語） 等

■ 2 サステナビリティ戦略の目次・概要

- 1 はじめに 2 状況分析
- 3 基本方針（1 人権、2 労働、3 腐敗防止、4 ダイバーシティ&インクルージョン、5 アクセシビリティ、6 環境 の6分野について「基本方針」を設定）
- 4 目的と目標（5つの「目的」、12の「目標」を設定し、取組を推進）

■ 3 サステナビリティ実施計画の目次

- 1 はじめに 2 ガバナンスとステークホルダーのマネジメント
- 3 実施スケジュール 4 予算 5 進捗管理と評価

■ 4 公表資料・持続可能性有識者委員会のURL

- (1) サステナビリティに関する取組み（戦略・実施計画、調達コードを含む）
https://expo2027yokohama.or.jp/news/news_20240118/
- (2) 持続可能性有識者委員会
https://expo2027yokohama.or.jp/news/report_20231024/

本件に関するお問合せ先

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 企画課（担当：藤川）

Tel：045-307-2046

ホームページ：<https://expo2027yokohama.or.jp/>